

けいせん

議会だより

第31号

令和元年度決算審査特別委員会

【一般会計・特別会計 決算審査結果報告】

令和元年度の普通会計の実質収支は、2億4千万円の黒字で、財政運営は全体として安定していると思われま

す。しかしながら、自主財源に乏しい本町においては、地方交付税をはじめとする国の地方財政措置等による影響が大きいため、新型コロナウイルス感染症対策に係る国の巨額な財政出動状況を踏まえると、近い将来、これまで以上に厳しい局面を迎えることが考えられます。

今後の行財政運営に当たっては、経費の縮減努力の継続はもとより、歳入歳出の両面から斬新な発想で

創意工夫を図っていく必要があります。



【水道事業会計 決算審査結果報告】

決算審査結果報告

財務状況は健全性が確保されています。また、決算における水道料金等の収納状況についても、良好な収

納が継続されています。

しかし、次のような厳しい課題に直面しています。

○経年劣化による施設の老朽化

○地震や豪雨による災害

○異常気象による水不足

このような課題に対して十分な対策をとっていただくよう、強く求めます。



一般質問（9月定例会）



吉川紀代子議員

20人学級の実施について

問 20人学級実現に取り組むべきではないか。

答（平井学校教育課長）20人学級編成は理想的だと認識しているが、講師不足・使用可能な空き教室不足など、現実的に困難である。

PCR検査費用の助成について

問 住民の命とくらしを守るべく、いつでも、誰でも、何度でもPCR検査が受けられるように費用の助成をすべきではないか。

答（井上町長）検査機関の確保や検査結果の取り扱い方など、無症状の方への検査助成は困難だ。

子ども医療費の拡充について

問 18歳までの入院・通院の完全無償化を検討すべきではないか。ちなみに嘉麻市は自己負担はない。

答（町長）来年4月から福岡県が実施する支給制度に合わせ、本町も拡充について具体的に検討している。全国町村会活動を通じて「国の制度として無償化」の要望を継続して行く。

福祉バス運行増便について

問 便数を増やすべきではないか。

答（川野健康福祉課長）令和2年4月1日から全コースで、トリアルへの乗り入れをすることに伴い、コース・運行時間を変更し、1コース6便から5便にした。増便については現段階では考えていない。

新たな停留所設置について

問 済生会病院で処方された薬を坂の下の薬局で受け取り、登り坂を引き返さなくては福祉バスに乗れない。

薬局前に新たな停留所を設置できないか。

答（健康福祉課長）病院で申し出れば、薬局から病院まで薬を届けてくれることを確認した。

福祉バス停への屋根とベンチの整備について

問 屋根やベンチを設置すべきではないか。

答（健康福祉課長）場所の広さなどで、設置は難しい。

補聴器助成について

問 全国で20ほどの自治体が高齢者に対する補聴器購入補助制度を創設している。本町でも創設すべきではないか。

答（町長）今後の国・県の動向に注視していきたい。

低所得者への電気代助成について

問 低所得者は電気代を節約するために、エアコンを使わないようにしている実態がある。

電気代の助成はできないか。

答（町長）現時点では考えていない。



大塚和佳議員

新型コロナウイルス対策の第2次支援金について

問 福祉施設等の職員が、新型コロナウイルスに感染した場合のバックアップは。

答（井上町長）県の方で、派遣の調整にあたることになっている。

問 感染者が数多く出た場合、人材派遣会社等と町が契約して対応する体制をとるべきでは。

答（町長）希望するような人材派遣会社等があれば、是非検討したいが、現在、そのような会社は手持ちの資料としてない。

問 福祉施設等からマスクや除菌液等購入の相談があった場合は。

答（町長）要望があれば実施する。

問 国からの交付金は、住民・

医療・福祉等関係に使うべきである。住民センター大ホール空調・換気設備等の7件（第2次支援金の約50%、6,800万円）は、町の予算を使って実施すべきではないか。

答（町長） 考え方が違う。財源の有効活用であり、最小の財源で、最大の効果を上げることが鉄則。

問 今までも、早く改修等すべきと発言してきた。

ゆのうら体験の杜について

問 令和元年度の収入と支出は。

答（原中企画財政課長） 収入666万円（うち480万円は補助金）、支出1,745万円。

問 起債の償還は。

答（企画財政課長） 建築時からの償還残額は6,126万円、償還は20年、1年間の償還額は360万円。

問 セカンドスクールにおける先生方の意見は。

答（大庭教育長） 体験活動等

は評価されているが、学年全員が宿泊等については改善の意見がある。

自治基本条例について

問 情報公開を考えたとき、昨年の12月から駅関係の説明を求めてきた。8月17日の全員協議会時に、タクシー駐車場は、駅南側道路の侵入口と聞いていたが、エレベーターの近くになっていた。また、観光案内所と多目的トイレの左右が逆だった。何故、説明が違うのか。

答（町長） タクシー専用駐車場の変更は知らなかった。

問 第6次総合計画アンケートの意見等の情報公開は。

答（町長） 実施する。

いいバイ桂川の取り組みについて

問 旧給食センター改修費や備品の金額は。

答（企画財政課長） 改修費1,840万円、備品300万円、植栽費225万円。

問 今後の計画は。

答（企画財政課長） トライアル産直コーナーと、ゆのうら体験の杜にシフトしていく。

（字制限のため、「地域おこし協力隊」「副町長の考え方について」は未掲載）



杉村明彦議員

国民健康保険税について

問 本年、新型コロナウイルス感染症の影響で、経営が困難になるほど患者が減った病院もあると聞く。

上半期の国保会計の歳出は昨年と比べてどうか。

答（横山保険環境課長） 新型コロナウイルスの感染が拡大していた今年3月から5月までは、どの月の保険給付費も、昨年と比較し減少している。

しかし緊急事態宣言解除後の6月、7月分を比較すると、い

れの月も昨年より増加しており、保険給付費にばらつきがあるのが現状。

問 来年度も黒字決算になるのか。

答（保険環境課長） 新型コロナウイルス感染症の影響により、国保税の収納及び医療費の動向が不透明であり、黒字になるとは言い切れない。

問 賦課方式は資産割を廃止して、4方式から3方式にしても良いのでは。

答（井上町長） 本町の国保会計は平成30年度・令和元年度と2カ年黒字決算となっている。

本年度は、福岡県国保運営方針の見直し年度となっており、この運営方針が採択されれば、本町も3方式の導入について具体的な検討が必要であると考えている。

福祉バスについて

問 今年度4月より福祉バスの運行改正を行っているが、住民からの苦情や要望などはあるか。

答（川野健康福祉課長） トラ

イアルに全コースで乗り入れすることを優先した関係で、一部の人は、不便をかけている。

しかし買い物を目的としている人、特に高齢者にとっては、利用しやすくなったと思う。

便数・時刻表を変更したことに伴い、一部、乗り継ぎの関係で影響はあると思う。

問 バスの循環方向を曜日ごとに順周り・逆周りはできないか。

答 (健康福祉課長) 物理的には可能だが、逆周りの時刻表を設定する必要があり、場所によっては、バス停を増やす必要がある。

また、逆周りをすることによって、利用者が混乱することも予想されるので、現状の時刻表で運行していきたい。



竹本慶吉議員

第6次総合計画でのアンケート調査について

問 資料の公表はあるか。また問32に合併問題と思われる設問があるがどうか。

答 (原中企画財政課長) 調査資料の公表は行う予定だが、現在、集計中で公表に至っていない。

問 32については、合併問題の必要性を含め、周辺自治体と広域的に連携する必要性に関する質問である。

答 (井上町長) 企画財政課長が答弁したように合併問題に限定した質問ではない。今後のまちづくりの課題の整理として行ったものだ。

問 合併問題はアンケート調査ではなく、住民投票を行うような問題であると思う。

現在までに、町長に対し、嘉麻市又は飯塚市から、そのような依頼あるいは打診を受けた事があったか。

答 (町長) 合併問題については、個別に慎重な協議が必要と捉えている。嘉麻市・飯塚市からそのような依頼や打診を受けた事実はない。

土師四区県道の交通規制について

問 八丁トンネル及び総合高校横の県道延長による交通量の減少を期待していた。しかし、現在もこの地域住民は、特に夜間の交通騒音・振動の減少を求めている。

自動車の速度制限を促すため信号機及び横断歩道の設置を求める。

答 (小金丸建設事業課長) 当該地の騒音・振動については、課題があることを認識している。

道路管理者である福岡県に対して強く要望していく。



柴田正彦議員

コロナ禍における学校の様子等について

問 コロナ禍における小学生・中学生・教職員の状況は。

答 (大庭教育長) 小学校では、再開当初は基本的な生活習慣や学習習慣を乱した児童が多く見られた。

マスクの着用・三密の回避・静かな給食など、これまでと異なった学校生活でストレスを抱える児童も増えた。

中学校では、3年生に学習の遅れを心配する生徒が多かった。ストレスを抱える生徒もいた。

7月以降、小・中学生ともに、ウィズコロナ(コロナとの共存)の学校生活に慣れ始め、落ち着きが見られるようになった。8月以降は、コロナ対策に加え、熱中症対策の中で、学校生活を送った。

教職員は、通常の業務に加え、毎朝の検温・放課後の教室内外の消毒の業務が加わり、大変な負担の中で教育活動を実施している。また、ストレスを抱えている児童・生徒への丁寧な対応もされている。

敬意を表するとともに、感謝申し上げたい。

問 コロナ対策のために申請した「学習支援員」、「スクール・サポート・スタッフ」の仕事内容は。

答 (教育長) 学習支援員は、コロナ禍において、子どもの学びの

保障をサポートするとともに、教職員の負担を軽くするために、家庭学習の準備・提出物の採点・授業準備の補助などを行う。

スクール・サポート・スタッフは、教室内外の換気や消毒等に加え、印刷業務を中心とした家庭学習や授業の準備等、感染防止のために増大している教職員の業務をサポートする。

問 桂川町の未来を担う子どもたちは町の宝。子どもたちのために、行政と議会にできることは、よりよい教育環境を整えていくこと。

「学校の建物はボロ口だけど、子どもたちも先生たちも光っているね」と言われる学校であってほしい。

もちろん、学校も建て替えたい。

字数制限のため、「コロナ対策について」「駅舎等建設について」「保育所・幼稚園の存続について」は未掲載



下川 康弘 議員

地域商社いいバイ桂川について

問 現在の人員体制及び仕事の内容は。

答 (原中企画財政課長) 現在は、会長(代表理事)・理事を中心に、本町から派遣している地域おこし協力隊2名・パート職員で事業運営を行っている。

仕事としては、3月にオープンしたトリアル桂川店の青果コーナーに、本町の登録農家が栽培した農産品を販売できる産直スペースの運営支援及び、「ゆのうら体験の杜」の管理運営、地方創生推進交付金に関連した本町のPRやイベントの企画・運営を行っている。

湯ノ浦キャンプ場について

問 「湯ノ浦キャンプ場」周辺及び弥山岳の整備は考えているのか。

答 (井上町長) 湯ノ浦キャンプ場の現在の施設のうち、セントラルロッジや炊飯棟は平成元年度に、その上のバンガローや炊飯棟・シャワー室等は平成7年度につくられている。

老朽化が進んでおり、今後の取り組みが課題になっている。

一方、弥山岳については、町民有志の尽力により、登山愛好者から高い評価を受けている。

「ゆのうら体験の杜」との連携を図り、本町のスポットとして、どのように取り組むべきか調査研究していきたい。

問 担当部署の一本化について。

答 (町長) 有効かつ効果的に取り組みを進めるには、現在、企画財政課と社会教育課に分かれている施設の管理を一にするこのメリットは大きいと思う。事業の目的等の関係もあるので検討・協議したい。

問 「ゆのうら体験の杜」と「湯ノ浦キャンプ場」の運営管理を、第3セクター「地域商社いいバイ桂川」に委託してはどうか。

答 (町長) 現在も「ゆのうら体験の杜」の運営管理の一部は、いいバイ桂川に委託している。

運営管理全体となると、指定管理者制度の導入及び当該施設等設置条例改正などが必要となるので、課題やメリット・デメリットなどを含めて検討したい。

つぶやき

コロナ禍に広がる
誤解・偏見・差別

今、新型コロナウイルス感染症に対する不安が高まることで、誤解や偏見による差別が広がっています。

この感染症は、特效薬やワクチンがない状況にあつては、誰が感染するかわからない病気なのです。そのような中で、感染者や医療従事者、また、そのご家族の皆さまが、不当な差別を受ける事態が絶対にあつてはなりません。

しかし、インターネットの掲示板やSNS上では、感染者を誹謗中傷する情報を流し、差別を助長するような心無い書き込みをする人がいます。

私たち一人ひとりが、誤った情報にまどわされることのないように、一度立ち止まって、正しい情報をもとに、冷静な判断・行動をしたいものです。

最後に、新型コロナウイルス感染症対策にかかわる医療従事者をはじめ、関係各位へ敬意を表したいと思います。

原中 政廣



9月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	【同意】 全員賛成
承認第17号	令和2年度桂川町一般会計補正予算（専決第4号）について	【可決】 全員賛成
承認第18号	令和2年度桂川町一般会計補正予算（専決第5号）について	【可決】 全員賛成
議案第28号	桂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 賛成多数
議案第29号	令和2年度桂川町一般会計補正予算（第2号）について	【可決】 賛成多数
議案第30号	令和2年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第31号	令和2年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 賛成多数
議案第32号	令和2年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第33号	令和2年度桂川町水道事業会計補正予算（第2号）について	【可決】 全員賛成
認定第1号	令和元年度桂川町一般会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 賛成多数
認定第2号	令和元年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第3号	令和元年度桂川町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第4号	令和元年度桂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 賛成多数
認定第5号	令和元年度桂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第6号	令和元年度桂川町水道事業会計決算の認定について	【認定】 全員賛成
報告第4号	健全化判断比率の報告について	—
報告第5号	資金不足比率の報告について	—
【追加議案】		
意見書案第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（案）について	【可決】 全員賛成
意見書案第2号	少人数学級の推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2021年度政府予算の策定を求める意見書（案）について	【可決】 全員賛成

○9月定例会の様子は桂川町HP『議会』で、ご覧になれます。

○12月定例会予定 12月9日～12月17日（一般質問は12月16・17日）